

高校通級について



定時制教育課程は…

ていじせい

やかん

定時制とは、夜間その他特別の時間

かてい

又は時期において授業を行う課程で

しゅうぎょうねんげん

あり、その修業年限は3年以上とされています。

通級による指導って？

平成30年度から高等学校において授業を通常の学級で受けながら、一部の授業についての特別の指導を特別な場で受ける

しどうけいたい じこうつうきゅう たこうつうきゅう じゅんかいつうきゅう

指導形態（**自校通級・他校通級・巡回通級**）

つうきゅう

しどう

いわゆる「**通級による指導**」を実施することができるようになりました。

高等学校における発達障害等困難のある生徒の状況

高等学校において発達障害等困難のある生徒は一定数おり、特に定時制・通信制課程に多い。

高等学校の課程別	全日制	定時制	通信制
進学者中、発達障害等困難のある生徒の割合	1.8%	14.1%	15.7%

1. 調査対象

平成14年度の文部科学省全国調査※に準じた方法で、実態調査を実施した中学校における平成20年度卒業の生徒の一部について実施した（対象生徒数は約1万7千人）。

※「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査」

2. 調査時期

平成21年3月27日時点

3. 実施方法

平成14年度に文部科学省で実施した全国調査に準じた方法で、平成18年度以降に実態調査を実施した中学校の3年生の一部を対象として、各中学校において発達障害等困難のある生徒の卒業後の進路を分析・推計する。

実施に当たっては、学級担任や特別支援教育コーディネーター等複数の教員により判断するものとする。よって本分析結果は、医師の診断による発達障害のある生徒の割合を示したものではない。

4. 集計結果

調査対象の中学校3年生のうち、発達障害等困難のある生徒の割合は、約2.9%であり、そのうち約75.7%が高等学校に進学することとしている。これらの高等学校に進学する発達障害等困難のある生徒の、高等学校進学者全体に対する割合は、約2.2%であった。

通級による指導の対象は？

たいしょう

げんご

※じへい

通級による指導の対象は、言語障がい、自閉スペクトラ

しょう じょうちょ

じゃくし なんちょう がくしゅう

ム症、情緒障がい、弱視、難聴、学習障がい、

※ちゅういけつじょ たどうしょう

注意欠如・多動症又はその他障がいのある生徒です。

※かつては、「自閉症」、「注意欠陥・多動性障がい」という診断名でしたが、2013年に刊行された「DSM-5（精神障がいの診断・統計マニュアル第5版）」で「自閉スペクトラム症」「注意欠如・多動症」に変更されました。また、2019年5月世界保健機関（WHO）総会にて国際疾病分類の第11回改訂版（ICD-11）が承認され、日本でも自閉スペクトラム症、ADHD（注意欠如・多動症）の診断名が使用される予定になっています。

通級による指導の目的は

障がいによる学習上又は生活上の困難
を改善し、又は克服することを目的として
います。

定時制の通級指導では

きょういくかてい とくべつ きょういく

通級による指導を高等学校の教育課程（特別の教育

かてい くわ てきせつ
課程）に「**加える**」場合は、生徒の授業のない適切な

じかんたい せってい

時間帯に設定する必要があります。特別の教育課程に

か せんたく きょうか かもく か じかんわり

また、「**替える**」場合は、選択教科・科目に替えて時間割
の中で実施します。

特別の教育課程では

- 加える場合の例（授業時数が増加）…放課後等、授業のない時間帯に実施

各学科に共通する必修 教科・科目 (31 単位)	総合的な 学習の時間 (2 単位)	選択教科・科目 (4 1 単位)	障がい特性に 応じた特別の指導 (年間7 単位まで)	特別 活動
			授業時数が増加	

- 替える場合の例（授業時数の増加なし）…選択教科・科目等の授業に替えて実施

各学科に共通する必修 教科・科目 (31 単位)	総合的な 学習の時間 (2 単位)	選択教科・科目(4 1 単位)	障がい特性に応じた 特別の指導 (年間7 単位まで)	特別 活動
--------------------------------	-------------------------	-----------------	----------------------------------	----------

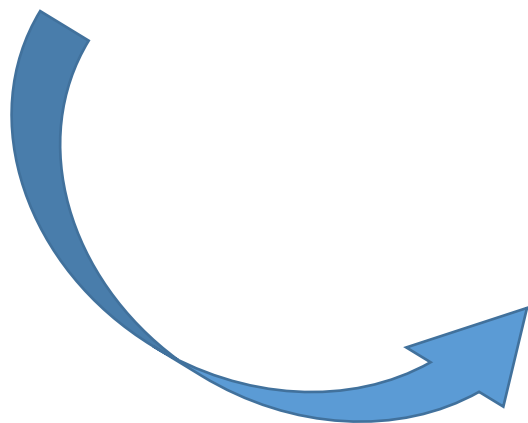
通級対象生徒は

きほん

しゅっせき つうきゅう

基本、授業に出席し通級
できる生徒です。





こま かん
本人の困り感
かいぜん こくふく
を改善、克服
したいという
気持ちが大切
になります

困っている生徒の背景

聞く力が弱い

見る力が弱い

見えないもの
そうぞう よわ
想像する力が弱い



しじ
聞き取れず指示が
わからなくなる

どこを書いている
か覚えられない

がいねん
時間の概念が弱い
けいかくせい むずか
計画性が難しい

にんちきのう
認知機能
トレーニング

アンガーマ
ネージメン
ト

ソーシャル
トレーニング

ビジョント
レーニング

など..





勉強がわからない

授業についていけない



とくせい
自分の特性を知りたい

くふう しかた
**勉強の工夫の仕方
が知りたい**



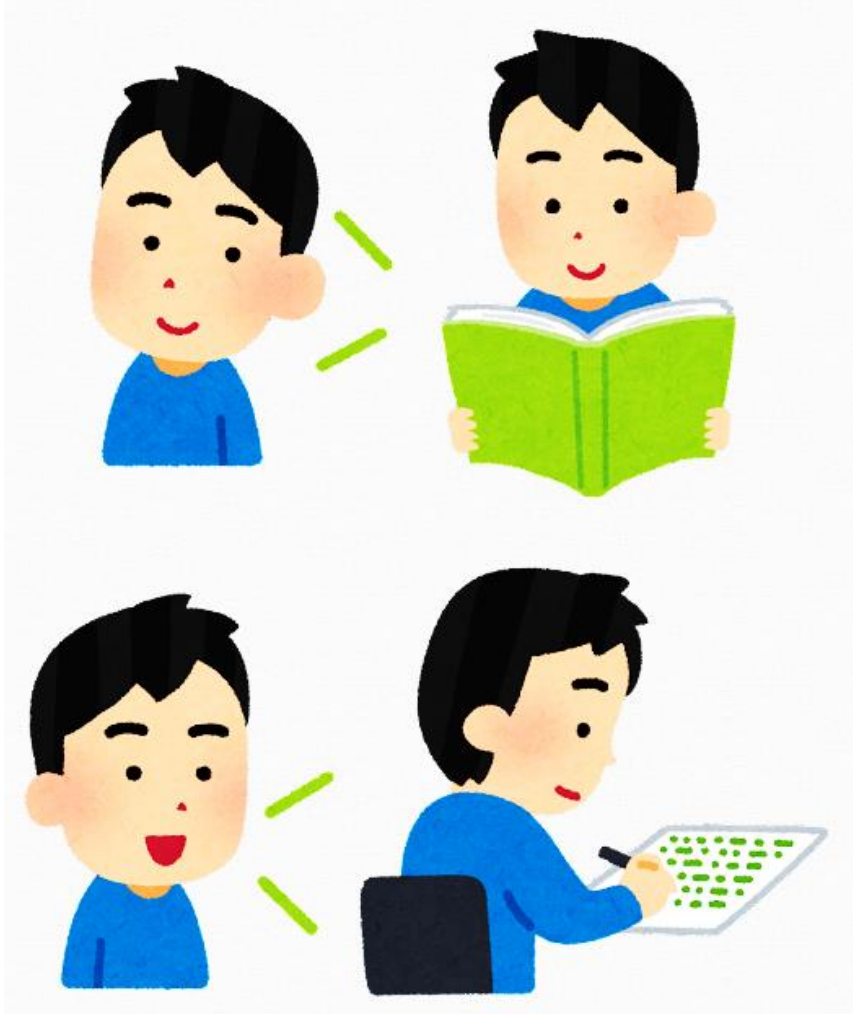
自分の強み、弱みが
わかってきた

勉強もすこしやりやす
くなってきた

自分の弱みと
うまくつきあいたい

自分から相談できる
ようになりたい





すこしずつ

りかい

自分を理解し、

そうだん

相談できるようになり

そつぎようご

卒業後の生活に

役に立つことに取り組み
ます。